

## 第17回「医療関係者の集い」の報告

研修会担当理事 昭和53年化学科卒 渡邊 仁

2007年3月17日(土)午後3時より理学部Ⅱ号館大会議室において「医療関係者の集い」が開催されました。

今年度は、萩原三千男氏(59年化学科卒)の「新しくなった東京医科歯科大学医学部附属病院検査部の紹介」、本学理学部生物分子科学科の岡田光正先生(前東邦大学理学部長)から

「植物の多様性」という講演をしていただきました。



昨今の医療情勢における検査機器の更新は、どこの施設でも頭の痛い問題です。まして、大型自動分析装置や検体搬送システムなどの高額機器となればなおさらです。東京医科歯科大学は国立大学付属機関から独立行政法人への転換期に機器の更新を行い、自立性と自由(=責任)を獲得するに至るその過程を紹介され、たいへん有意義でした。

岡田先生からは、ご自身が撮影された世界中のスライドを100枚以上厳選してくださり、普段、植物は門外漢という会員からも、改めて植物に感動を覚えたり、新たな興味も湧いたとの声が聞かれました。またどこかで、詳しくお伺いしたいと思いました。

恒例の懇親会では、副理学部長の小林芳郎先生の挨拶と乾杯から始まり、在校生が先輩を囲み会社や病院の様子を伺う姿があちこちで見られました。また懐かしい再会などもあったようですが、ますます有意義な会となつた感じを受けました。幹事会メンバーは、20回記念大会の企画で盛り上がりしました

参加者は卒業生約50名、在校生18名でした。